



直ぐのリリースの為

オックスフォード・ジーン・テクノロジーは日本ガイシにマイクロアレイを製造し、売り、
OEM 出来るマイクロアレイ・ライセンスを譲渡する。

オックスフォード、 2006 年8月xxx。オックスフォード・ジーン・テクノロジー (OGT) は喜んでこの度日本ガイシとライセンス契約を結んだ事をお知らせします。この契約を持って日本ガイシはオリゴヌクレオチドのマイクロアレイの製造とマーケットをカバーする基本特許、OGT の「サザン・アレイ特許」、を使用する事が出来ます。日本ガイシは又日本で売る為のマイクロアレイの OEM 製造の権利も持っています。日本ガイシが製造したマイクロアレイであれば全て、其のお客さんはそれらを使ってサービス営業する事が出来ます。

日本ガイシはその所有権を持つ GENESHOT®の技術を使って、日本ガイシのブランドのアレイと日本ガイシが OEM 製造したアレイを造っていく事になります。GENESHOT®の技術はユニークなピエゾ電子セラミックス製マイクロアクチュエーターを使った装置で DNA マイクロアレイを非常に正確に又信頼度高くプリントする事が出来ます。

OGT のアジア地域担当副社長、マイケル・ベネット博士は以下の様に語っている：「OGT は日本の会社の幾つかとライセンス契約を結ぶ事に成功してきた。日本ガイシとの契約は OEM 権利の購入を含んでいて、これは日本のマイクロアレイ会社で唯一つだ。」

このライセンスは特許の有効な限り継続する。金銭的な詳細は開示されていない。

— 終わり —

さらに情報を得たい場合は、以下に連絡して下さい：

At Oxford Gene Technology:

Dr Michael Bennett, Vice President Licensing Asia

Oxford Gene Technology

Begbroke Science Park,

Sandy Lane, Yarnton

Oxford OX5 1PF

T: +44 1865 842603

F: +44 1865 848684

E: licensing@ogt.co.uk

W: www.ogt.co.uk

Media Enquiries:

Sarah Jeffery, 0207 886 8150 / s.jeffery@northbankcommunications.com

Annabel Entress, 0207 886 8150 / a.entress@northbankcommunications.com

編集者の為のノート：

オックスフォード・ジーン・テクノロジーについて

- 1995年に、サザン・プロットイングの開発者、エドウィン・サザン卿教授によって創立され、成長するライフサイエンスの会社とのネット・ワークに非常に便利である、オックスフォードの近くのベッグブロック・ビジネス・パークで経営を行っている。
- OGTの取締役チームは世界中に認められた科学と、知的財産をライセンスする強い経歴と、製品開発、技術の商業化といったユニークな組み合わせを提供する。
- マイクロアレイ技術のライセンスから得たロイヤルティーの収入の一部はチャリティーに使われています。カークハウス・トラストはサザン教授により創立され、自然科学の教育と研究を昇進しています。エデナ・トラストも学校での科学を昇進する為に創立されました。

OGTが集中点としている分野としては主に以下を含む：

1. ライフサイエンス研究と遺伝子診断の為の**アレイを基にした応用製品とサービス**。OGTは比較ゲノムハイブリダイゼーション (CGH) とかクロマチン免疫沈降チップ (ChIP-on-chip) を含み、成長する適切なマーケットに広げられる様、製品のブートホオリオの開発に努めています。OGTの最初の製品は*E. coli* K-12 ChIPアレイです。

OGTの順応性があり費用効果の良いカスタムDNAマイクロアレイのサービスは、幅広い応用をカバーし、最初の相談から実験のデザイン、プローブの選択、アレイデザインそして製作からデータの解析と解釈まで全ての面で専門家のサポートを提供しお客さんを援助しています。

OGTのカスタム向けのプローブデザインによって、各自の実験の条件下で最適な結果が得られるよう、最適なオリゴヌクレオチドの長さを選ぶ事が出来ます。

OGTのオリゴヌクレオチド・マイクロアレイ製作の方法はとても順応性が高く、インクジェット *in situ* (IJISS) を使って配列と方向の要求によって一つ一つのプローブがデザイン出来ます。この技術で素晴らしい正確さで支持体の上にDNAを合成する事が出来ます。

2. 臨床研究と診断の為の**革新的なプラットフォーム製品の開発**：
現在の開発プロジェクトとしては：
a. 臨床研究と診断の為の多試料アレイ→これは慣例のIJISS或いは特許を持った電子化学的方法でも造れます。
b. 遺伝子がどうなっているのか単一細胞レベルで解析する→OGTは複雑な生物試料内の蛋白質と核酸を超高感度で解析出来る技術の家族を解発する為のMolToolsというEU/FP6 統合プロジェクトのSMEに入っている。
3. **ライセンス活動**。OGTはオープンなライセンス方針で経営されていて、特にマイクロアレイの分野でOGTの基本的知的財産をいくつもの会社に使ってもらえる事に成功してきた。ライセンス後の関係管理がライセンス活動の重要点である。OGTの知的財産は生物科学に必要な三つの広い分野をカバーし、マイクロアレイ、遺伝子、電子化学を含む。
4. 診断用のバイオマーカーの知的財産を造る為の**科学的協力**。

さらに情報を得たい場合は、OGTのウェブサイト<http://www.ogt.co.uk/> へどうぞ。